

学校名	美里町立美里中学校
所在地	児玉郡美里町駒衣1 1 1 5 - 1
電話	0 4 9 5 - 7 6 - 0 3 7 9

1 本校の概要

本校は町内唯一の中学校で全校生徒 296 人、11 学級の小規模校である。生徒は落ち着いた環境で学習、生活している。校舎は新築 5 年目で、木目がきれいな作りである。図書館は 2 階中央に位置し、どの学年も利用しやすい場所にあるため、特に昼休みに図書館を利用する生徒が多い。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に関わる取組
- ・学校図書館などの環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 朝読書

本校では週に 3 日、水・木・金の朝 8:30 から 10 分間を朝読書の時間に充てている。読む本は小説などを中心に、生徒は自分で好きな本を各自で準備したり、図書館で借りたりしている。



イ 学級文庫の充実

本を身近に感じる環境作りを目指して、毎年 4 月に学級文庫を整備している。各クラスの担任は、生徒に読ませたい本を購入し、学級文庫の充実を図っている。

ウ 図書委員会の活性化

6 月に図書委員会主催で生徒会朝会を行った。内容は図書室利用の案内や図書委員おすすめの本の紹介などである。

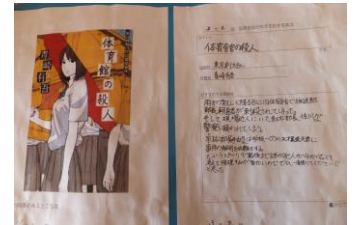
また、3 学期には新着図書の紹介を給食時間の放

送で流す。

エ 図書館の環境・設備の充実

5 月に図書委員はおすすめの本をそれぞれ一冊選び、その本を紹介するポスターを作成し、図書室の廊下に掲示した。そして、1 月には 2 学期に購入した新着図書の紹介をするポスターを作成し、それを図書館前に掲示している。

また、本校は蔵書量 16,000 冊を目標に毎年、図書の購入を図り、昨年度には学校図書館図書標準を 100% 達成した。その図書を、パソコンを利用し一括で管理し、貸出や返却の手続きを簡略化している。他にも生徒が自分で検索できるパソコンも整備していて、生徒が利用しやすい環境を作っている。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 朝読書は定着しており、時間になると生徒は本を準備して読み始めている。朝読書以外にも休み時間も本を読んでいる生徒が多くいる。

イ 図書室は明るく、そして広く作られて利用しやすい環境である。そのため、本の貸し借りだけでなく、自習などを目的に利用する生徒もいる。

ウ 生徒に図書の購入希望アンケートを行って一括購入しているので、利用率は年々上昇している。

(2) 課題

図書館を利用する生徒が固定化されつつある。何冊も本を借りる生徒もいる傍ら、年間で 1 冊も借りない生徒もいる。図書の選定を考えて、さらに読書に対する啓発を行う必要がある。